

Column

予算って
どうやって作られているの？

平成30年度の予算編成は前年の10月頃から、全職員が一体となって取り組んでいます。

DATE 10月

市長より、新年度予算編成における基本指針や方向性を示した「予算編成方針」が全職員に通知されます。担当課は、これに基づき、次年度の事業実施に必要な額を計算し、予算作成を担当する政策課へ提出します。

DATE 10~12月

政策課は各担当課から提出された要求額を査定し、その後、各課からの復活折衝協議などを経て、予算案をまとめていきます。この過程では、「働きたい 住みたい 子育てしたい 共働のまち さかいで」の実現に向け、予算に反映させるなど、さまざまな観点から事業の取捨選択を行っています。

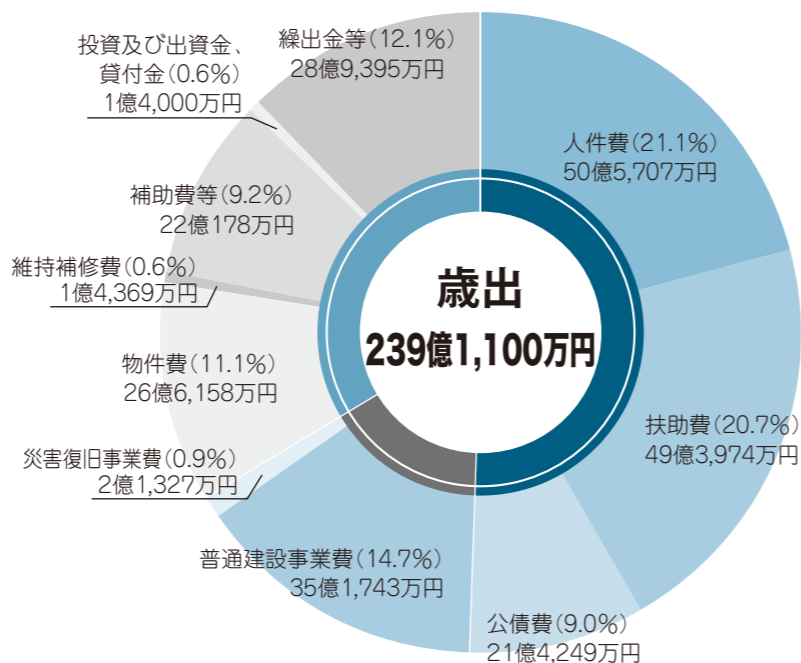
DATE 1月

市長自ら予算案を精査し、必要な指示・修正を終えると、予算案が完成。

DATE 3月

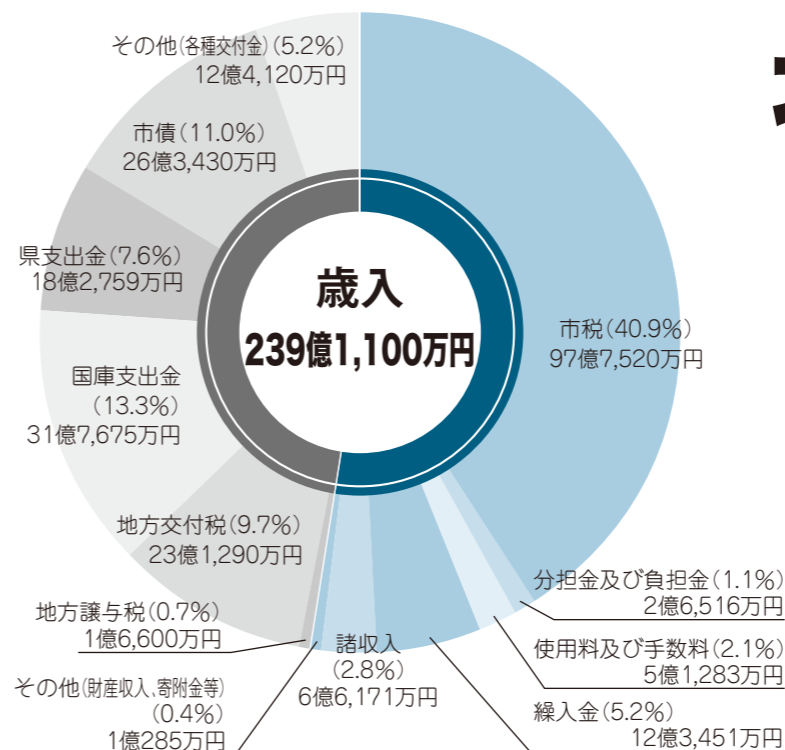
予算案は議会で審議され、議決を経てはじめて正式な予算となります。

歳出の内訳【一般会計】



- 義務的経費 121億3,930万円 (50.8%)
- 投資的経費 37億3,070万円 (15.6%)
- その他経費 80億4,100万円 (33.6%)

歳入の内訳【一般会計】



- 自主財源 125億5,226万円 (52.5%)
- 依存財源 113億5,874万円 (47.5%)

平成30年度
坂出市予算

一般会計当初予算額239億1,100万円
防災対策・人口増対策に重点

平成30年度の一般会計当初予算額は前年度比5.6%増(12億7,220万円増)となる239億1,100万円を計上しました。当初予算額は2年連続の増額。これは、安全・安心のまちづくりの実現に向け、新庁舎の建設に本格的に着手するとともに、公立小学校防災機能強化事業などの防災対策経費に積

極的に予算を投入したためです。さらに、まちなか中高層共同住宅建設促進事業補助金や乳児紙おむつ支給事業などの人口増対策に重点配分しました。また、昨年の台風で被災した橋梁の復旧工事や、府中湖カヌー競技場トレーニングセンターの整備事業など、各種施策に予算を計上しました。

坂出市の家計簿

坂出市が年収400万円の家計だったら...

収入

給料(市税)	163万円
親からの仕送り (国庫支出金・地方交付税等)	146万円
ローン借入(市債)	44万円
パート収入(諸収入・使用料等)	26万円
貯金から引き出し(繰入金)	21万円
合計	400万円

支出

食費(人件費)	85万円
子どもへの仕送り(繰入金・補助費等)	84万円
医療費(扶助費)	83万円
光熱水費・日用品費(物件費)	44万円
家の増改築費(普通建設事業費等)	62万円
ローンの返済(公債費)	36万円
貯金(積立金)	2万円
知人への貸し付け等(貸付金等)	2万円
家具などの修理代(維持補修費)	2万円
合計	400万円

会計名	平成30年度	平成29年度	増減率(%)
一般会計	239億1,100万円	226億3,880万円	5.6
特別会計	150億961万円	166億8,528万円	▲10.0
国民健康保険	64億9,589万円	79億1,638万円	▲17.9
与島診療所	825万円	4,645万円	▲82.2
港湾整備事業	1,861万円	6,704万円	▲72.2
王越診療所	1,894万円	1,866万円	1.5
下水道事業	15億4,117万円	19億1,926万円	▲19.7
駅北口地下駐車場事業	1億120万円	1億91万円	0.3
介護保険	58億4,352万円	56億6,517万円	3.1
介護予防支援事業	5,523万円	5,185万円	6.5
後期高齢者医療	9億2,680万円	8億9,956万円	3.0
企業会計	59億7,339万円	85億6,761万円	▲30.3
市立病院事業	59億7,339万円	62億7,779万円	▲4.8
水道事業	-	22億8,982万円	皆減
総合計	448億9,400万円	478億9,169万円	▲6.3

用語解説

- 自主財源** 市が自らの手で徴収または収納できる財源(市税、使用料等)
- 依存財源** 国または県が関わる財源(地方交付税、国・県支出金、市債等)
- 義務的経費** その支出が義務づけられ、任意に削減できない経費(人件費、扶助費、公債費等)
- 投資的経費** 社会資本の整備に要する経費(道路整備、学校建設等)
- その他の経費** 物件費や維持補修費などに支出される経費

子育てしたい まち

新規

乳児紙おむつ支給事業 430万円

出産祝金の受給資格者に対し、生まれた子ども1人につき、12,000円分の市内指定取扱店で使用できるおむつ引換券を支給します。



継続

子ども医療費助成金 2億748万円

中学校卒業までを対象に、医療費を助成することで、子育て世代の経済的負担を軽減し、少子化対策の効果と定住者の増加につなげていきます。



継続

庁舎建設事業 6億9,639万円

大規模災害発生時に防災性能を有し、市民が安心して利用できるよう、新年度より新庁舎の建設に本格的に着手します。



完成は2020年度の予定

平成30年度 主要事業

「働きたい 住みたい 子育てしたい 共働のまち さかいで」の実現に向け、平成30年度当初予算に計上した主要事業を紹介します。

働きたい 住みたい まち

継続

保育所・幼稚園 保育料軽減 (第2子以降無料化) 4,477万円

県補助の対象が第3子以降就学前児童(所得制限有)まで拡充されましたが、さらに市単独事業として対象を第2子以降(所得制限無)まで拡充し、子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもを生み育てやすい環境の充実を図ります。



拡充

給食関連整備事業 (全公立幼稚園実施) 2,140万円

坂出中央幼稚園において幼稚園給食を先行して実施していますが、平成30年9月から、全公立幼稚園で実施します。

新規

子育て支援ホームページ 構築業務 55万円

利用者の利便性を高めるため、子育て支援関連情報を集約した特設サイトを、坂出商業高等学校情報技術科とも共働しながら開設します。

新規

子育て世代 包括支援センター事業 275万円

妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う「子育て世代包括支援センター」を平成30年5月より、けんこう課内に設置します。

業務内容

- ①妊産婦・乳幼児等の実態把握
- ②妊娠・出産・子育てに関する各種相談
- ③支援プランの策定
- ④関係機関との連絡・調整

新規

橋梁復旧工事 2億6,227万円

昨年の台風により被害を受けた青海川に架かる無名橋の災害復旧工事にあわせて拡幅工事を行い、通行時の安全性・利便性を図ります。

新規

移住促進・空き家改修等 補助金 550万円

坂出市への移住を促進するため、「香川県空き家バンク制度(かがわ住まいネット)」登録物件の改修工事および家財道具の処分に対して補助金を交付します。

新規

老朽危険空き家除却 支援事業補助金 3,200万円

周辺の生活環境に悪影響をおよぼすおそれのある、老朽化して倒壊等のおそれのある空き家の除却を行う所有者等に対して、補助金を交付します。

新規

まちなか中高層共同住宅 建設促進事業補助金 5,000万円

駅周辺の中心市街地における、快適でまちなかにふさわしい住まいの供給を促進するため、条件に適合した中高層住宅の建設に対して補助金を交付します。



継続

新婚世帯家賃補助金 2,131万円

若者の市内への移住定住促進を図り、活力あるまちづくりを進めるため、市内の民間賃貸住宅に居住する新婚世帯に対して月額1万円以内を最大2年間補助します。(期間 H31.3.31まで)



継続

府中湖カヌー競技場トレーニングセンター 整備事業 1億6,676万円

カヌー競技の競技力向上、2020年東京五輪・パラリンピック事前合宿誘致、2022年全国高校総体の開催等に向けて、県とともに府中湖カヌー競技場トレーニングセンターの建設およびカヌー研修センターの改修を行います。(H29~H31)



新規

坂出港開港70周年記念事業 137万円

坂出港についての展示会や記念講演、親子ツアーなどの、坂出港開港70周年記念事業を行い、次世代へつなぐ契機とします。



新規

健康遊具整備工事 360万円

市内公園2カ所に健康遊具を設置することで、ウォーキングと健康器具運動により、中高年のかたの健康増進や体力づくりに利用できる環境を整備します。

